

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *



令和8年第7週 (2月9日～2月15日)

インフルエンザが急増しています

今週の報告数は101人となり、先週の29人から急増しました。型別ではA型が2人、B型が99人と、ほとんどがB型の報告となっています。豊肥管内の定点あたりの報告数も19.20人と、3週連続で増加し、引き続き流行発生注意報レベルとなりました。型別ではB型の割合が97%となっています。大分県全体の定点あたり報告数は64.43人となり、先週の69.67人から減少しましたが、依然として流行発生警報レベルとなっています。

インフルエンザB型は、通常のインフルエンザの症状に加えて、小児では腹痛、下痢、嘔吐などの消化器症状が出やすいといわれています。竹田地域では、感染性胃腸炎も流行していますので、ご注意ください。

SFTS (重症熱性血小板減少症候群) について

2025年は、SFTS (重症熱性血小板減少症候群) の報告数が、全国および大分県で過去最多となりました。

例年、マダニの活動が盛んになる4月頃から報告数が増加しますが、大分県では2026年1月に、すでに1例目の報告がありました。

SFTSは、病原体を保有したマダニに咬まれてから6～14日程度の潜伏期の後、発熱、消化器症状 (食欲低下、嘔吐、下痢、腹痛等)、頭痛、筋肉痛などを伴って発症します。診断や治療が遅れると、意識障害や出血症状など重症化することもあり、命に関わることもあります。

予防として、マダニに咬まれないようにすることが重要です。野山や畑などマダニが生息する場所に出かけるときは、次の点に気をつけましょう。

- ①長そで、長ズボン、手袋、長靴などで肌の露出を避けましょう。
- ②虫よけ剤を正しく使用しましょう。
- ③帰宅後は早めにお風呂に入り、マダニに咬まれていないか確認し、必ず着替えましょう。

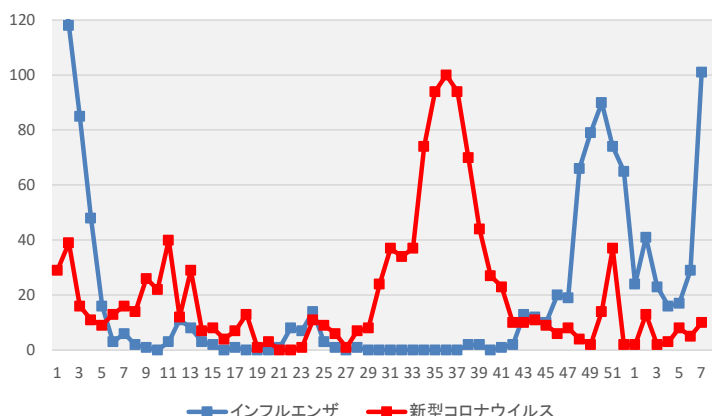


(第7週)

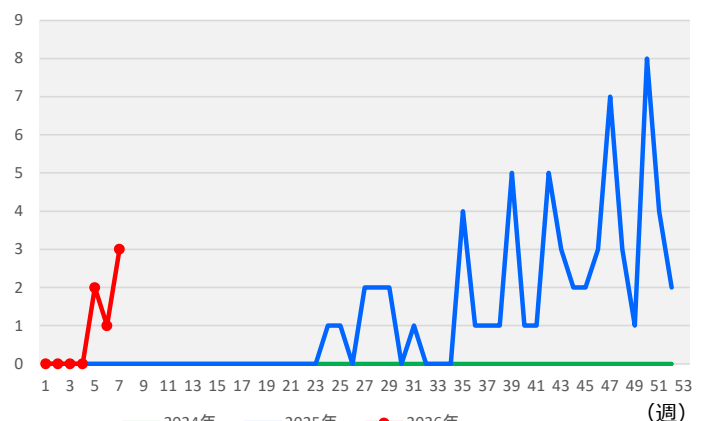
(調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱 (プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘 (みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑 (リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん (全数報告)	風しん (全数報告)	百日咳 (全数報告)	つつが虫病 (全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳		2									1								
4～6歳		6						1			2								
7～9歳		8						1											
10～14歳	1	36						6											
15～19歳		18																	
20歳以上	1	29		10				2											
今週	2	99		10				10			3								
	101																		
70歳以上 (再掲)				9															
先週	6	23		5				33			1								

(人) 2025-2026年 竹田地域
インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症推移



(人) 伝染性紅斑竹田市8医療機関総数



冬の感染対策

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染対策の基本は「手洗い」「咳エチケット」「換気」です。

医療機関や高齢者施設などでは、重症化リスクの高い方への感染予防のためマスクの着用を求められることがあります。

正しい手の洗い方



① 流水で汚れを洗い流し、手のひらで石けんを泡立てます。



② 手の甲を伸ばすようにこすります。



③ 指先・爪の間を念入りにこすります。



④ 指の間を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。



⑥ 手首も忘れずに洗います。

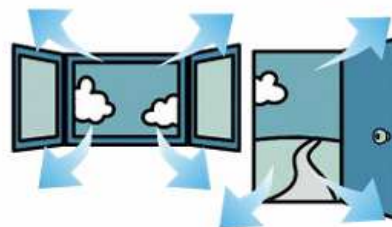


⑦ 石けんを流水で洗い流します。

3つの咳エチケット



こまめな換気



寒いと、つい窓を閉めっぱなしにしがちですが、ときどき窓や扉を開けて空気を入れ替えましょう。



厚生労働省

健康・生活衛生局

感染症対策部 感染症対策課

森・草むら・公園などに
生息しています



そのマダニ ウイルスをもっているかも？

病原体をもったマダニに咬まれることで、「重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)」や「日本紅斑熱」等に感染する恐れがあります。

SFTS とは

主にウイルスを保有しているマダニに咬まれて感染するダニ媒介感染症です。

春と秋は、特に注意！

**近年
増加中!!**

効果的な対策

虫よけ剤を正しく使う



1 腕・足などお肌の露出部分には約15cmの距離からスプレーしてください。

※汗をかくと虫よけ剤が流れてしまうので、その都度塗り直すことが大切です。

2 顔・首筋には手のひらにスプレーしてお肌に塗ってください。

3 塗りムラのないように伸ばして塗り広げてください。

肌を露出しない服装



虫よけ剤はムラなく
しっかり塗りましょう!!

※室内外で飼育する愛玩動物による家内持ち込みにも注意が必要です

マダニに咬まれた! そんな時は・・・

- ▶無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらってください。
- ▶マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診療を受けてください。



大分県



アース製薬

大分県ダニ媒介感染症
情報はコチラ▶



大分県とアース製薬は包括連携協定を締結し、安全・安心・健康な暮らしに関する取り組みを進めています。

でんせんせいこうはん

伝染性紅斑

両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれる小児に多い感染症です。



10～20日の潜伏期間の後
微熱・かぜに似た症状
この時期にウイルスの排出が最も多くなります。



こんな症状がみられます

ほっぺたがリンゴのように
赤くなります（紅斑）

発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。発しんは1週間程度で消失しますが、中には長引いたり、一度消えた発しんが短期間のうちに再び出現したりすることがあります。

予防と対策

手洗い、マスク着用など

基本的な感染症対策を心がけましょう！


伝染性紅斑の主な感染経路は、「飛まつ感染」と「接触感染」です。子どもを感染から守るため、周囲の人も基本的な感染症対策を心がけましょう。

妊娠中又は妊娠の可能性がある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発しんが出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。また、感染しても症状がないこと（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は、妊婦健診の際に、医師に伝えてください。



詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

 **厚生労働省**

感染症対策課 2025年5月作成

